

1 単元名 自分のことを書いてみる

2 単元について

単元 目標	○自分の興味を中心や、成長を意識し、経験した表現形式の中で表そうとする ○友だちの作品からその人の表したいことを感じとり、その表し方に目を向ける
----------	---

入学当初から、自分でえらぶ学習(計画表を用いた個人学習)に取り組んできた子どもたちである。自分のお気に入りや生活の中での疑問をサークルの形で話し合い、それを共同で書き言葉にすることも、くり返し経験してきた。2年生では感じたこと・考えたことを書き言葉で表すことを通して、他者に向けたことばの選び方を経験させたい。

書き言葉を介することで、他者が伝えたいことを読み取ったり、自分の表したいことを意識したりという思考が促される。取り組んだことがうまく書き言葉にならない子どもたちも、他者の声にふれることによって、経験が具体化されたり、意味づけされたりできるよう、「質問」を通して他者の想いに触れる対話を考えたい。

子どもたちにとって「書くこと」への抵抗感が高いのは、「書き方」への認識が不足している中で、作品に完成度が求められるところにも起因する。そこで本単元では、表現形式を選んで書くことができるようにする。自分で選択した表現形式では、自分なりの「書き方」が意識されている。他者の声を聴くことで、豊かに表すにはさらにどこを書き替えるかが話題になる。

作品を仕上げていく過程は個別指導を中心にする。教師はその子が表したいことを知り、効果的に表せるような相談の時間を個別または小集団でとっていく。時間の始めには、子どもたちに「書き方」が意識されるような指導場面を組み入れ、表現方法を子どもたちの文化の中に位置付けていく。

また、表したいことが他者にも見えるためのツールとして「ネタ帳」を用いる。書きたい素材一覧や構成メモ、調べたこと、イメージ画などを貼り合わせたノートからその子の表そうとしていることを知り、具体的な相談が行えるようにする。

この単元で最も大切にしたいのは、未完成なものが公表され、更新されていくことである。それぞれが自分の目的や課題を意識し書くことに取り組める授業について、個の活動と他者の声を通して考えていきたい。

3 学習指導計画(単元:全20時間/15時間目)

- (1) 目標や計画を考え、表現形式を決める
- (2) アイディアを出し、組み立てる
- (3) 下書きをし、書き足す
- (4) ペアで読み合い、質問や付け足しをする
- (5) 付け足し・修正をする
- (6) 発表(出版)をする
- (7) 清書・校正をする
- (8) 次の作品の目標や計画を考え、表現形式を決める

※(1)~(8)を、表現形式を変えながら、20時間の中でくり返し経験する。

4 本時の学習について

(1) 本時のねらい

友だちの作品から取り入れたいところや付け足したいところを見つけ、自分の作品に向かう

(2) 予想される本時の展開

主な学習活動と子どもの姿	留意点
1 友だちの発表を聴く	○友だちの使っている技やもう少し知りたいことに気付く ・U字型で発表を聴く ・書き方の工夫を取り上げる
2 自分の作品に向かう	○計画に沿って個人で進める ・学習ペアに相談してもよい
3 友だちの相談を聴く	○友だちの困ったことについて、共同で考える ・その人の表したいことや目的に触れられるようにする

□授業後の話し合いで話題にしたいこと 書くことと聴くこととの関わり

100 学習指導 11